



齊藤隆則

地域活性化に向けた取り組みは。

町 幅広く支援を考える。

問 現在、地域活性化対策に取り組んでいる団体への補助金の状況は。

企画財政課長 現在は18地区の地域づくり委員会が活動しており、運営交付金として49万円交付している。

そのうち事業交付金として10地区、合計131万2000円を交付している。

問 若い人たちが作るグループなど活性化に取り組んでいる団体もあるが、今後どのような基準で各団体を支援するのか。

企画財政課長 18地区に限らず各団体にも幅広く支援を考えている。

問 どのような団体が適正なのか、また、新たな団体だ

けでなく今まで実績を残してきた団体などへの支援対策は。
副町長 積極的に出てくるものには、その熱意を感じ、その想いに支援をする考えはある。また、もう既に実績を残している福祉や町づくりの各分野に広く周知して、呼びかけも必要である。

高齢者問題への対策は。

町 第3期地域福祉計画を策定。

問 地方創生先行型交付金が確定したが、使い方が今後の進め方は。

保健福祉課長 交付が決まった1080万円は、今後協議会を設立し「那須町※CCRC構想計画」を策定していく。その協議会等で計画作成、その他講演会の開催などに使用する。

問 CCRCを踏まえて、本町在住の高齢者が楽

しく過ごせる対策は。
保健福祉課長 現在、保健福祉課と社会福祉協議会の協働で「第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定している。

後の計画を検討している。
また、県も「栃木県地域福祉支援計画」を作成中でありそれらと整合性を持った計画を策定していく。
本町の一人暮らし高齢者世帯の対策は地区社協でも小地域福祉活動計画を作成し動き出ししており、それを踏まえて在住高齢者の対応を考えていく。



元気な高齢者

※CCRC…都会の高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住み、元気な時から要介護の状態になっても安心して暮らせるサービス・環境を提供すること。



活性化対策の黒田原駅前映画祭